



博物館ニュース「SHŪ」 NO. 59

“SHŪ” News of Tamagawa University Museum of Education

2022年9月20日

玉川大學教育博物館



目次

展覧会への招待	2
報告	4
資料をご寄贈いただきました	5
開館カレンダー	
利用案内	6

彩文壺

口径 15.0cm 高 20.6cm 胴部最大径 21.4cm

タイ バン・チェン期（前 300 年～後 1 世紀）

出土地不詳 戸田哲也氏寄贈

北東タイの北部にあるバン・チェン遺跡などから、鮮やかな彩文土器が出土することが知られています。成形した土器の表面にクリーム色の化粧土をかけ、赤い顔料で文様を描いたものです。本資料は口縁に縦線、頸部に細かい波線を引き、胴部に交差する大きな波形の線で連続する目のような区画を作り、区画内と波線の交点の上下に、細かい線で幾重にも長楕円形を描いています。こうした線による渦巻や同心円状の文様は、バン・チェン期の彩文土器の典型的な文様といえます。

展覧会への招待

先史・古代のアジアのやきもの ―戸田コレクションの土器・陶磁器―

2021年、玉川大学の卒業生で、本学の講師として長年にわたり考古学を講じてこられた戸田哲也氏より、愛蔵のアジアの土器・陶磁器78点のコレクション（「戸田コレクション」）をご寄贈いただきました。これは、当館の資料の充実に資するとともに、本学で陶芸や美術史などを学ぶ学生たちの参考にしてほしいとの、ご芳志によるものです。今回開催する企画展では、寄贈された「戸田コレクション」のうち、約70点を展示いたします。

「戸田コレクション」は、中国の先史時代の土器、漢代の陶磁器、そしてタイの土器の3つの柱からなります。縄文土器を中心に、日本の先史文化の研究をされてきた戸田氏は、縄文土器との比較対象として中国の土器に関心を抱き、黄河上流域の甘粛省周辺出土とみられる彩陶の収集を始められました。その後、中国の先史・古代のやきもの歴史が通観できるように、漢代の資料にもコレクションの幅を広げてされました。また戸田氏は、日本列島を取り巻くアジア・オセアニア地域の人類学的研究にも関心を持っておられ、タイの土器収集も、そうした問題意識の中から始まったものと思われます。

ひとりの考古学者の眼と学的関心に根ざして形成された「戸田コレクション」を通して、先史・古代のアジアのやきものの魅力に触れていただければ幸いです。

皆様のお越しを、お待ちしております。



彩陶単耳長頸壺
中国・馬家窯文化馬廠類型 高28.9cm



家畜小屋（猪圈）
中国・漢代 高9.3cm 幅13.0cm

◆会期 2022年10月24日(月)～2023年1月15日(日)

◆休館日 土曜日・日曜日・祝日及び年末年始(12月24日～1月4日)

ただし、以下の日は開館します。

11月12日(土)、13日(日)、23日(水・祝)、12月17日(土)、1月14日(土)、15日(日)

◆時間 10:00～17:00(入館は16:30まで)

◆会場 玉川大学教育博物館第2展示室 入館無料

◆主催 玉川大学教育博物館 ◆協力 株式会社玉川文化財研究所

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前予約制を導入しています。詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

*次頁で紹介する「外地教科書」展も、同時にご覧いただけます。

展覧会への招待

登録有形文化財登録記念展示 外地教科書

2020年9月30日に、玉川大学教育博物館が所蔵する近代教科書関係資料（玉川大学収集）12,728点が、国の登録有形文化財（美術工芸品歴史資料の部）に登録されました。それを記念して、企画展「先史・古代のアジアのやきもの―戸田コレクションの土器・陶磁器―」にあわせて、近代教育関係資料の展示を行います。

登録有形文化財は、所有者が申請し、文化庁の調査、文化審議会への諮問・答申を経て、文部科学大臣が登録する有形文化財のことを指します。当館の近代教科書関係資料は、教育史上のまとまった研究資料との評価を受け、17番目の美術工芸品の登録有形文化財になりました。

この資料は、1895年から1945年にかけて、日本が直接的、間接的に統治した台湾、朝鮮、満州、南洋群島等の学校教育で使用された教科書群で、児童、生徒が使用した教科書のほかに、教師用指導書や編纂趣意書、掛図が含まれます。

玉川大学教育博物館では、1997年と2002年に外地教科書と称されるこれらの資料類を購入し、資料の整理と調査研究を行ってきました。

今回、展示した資料は、これらのうちで1895年から1943年にかけて発行された台湾、朝鮮、満州、南洋群島等の教科書が中心です。子どもが使用した教科書のほかに、教師用指導書や掛図、台湾や朝鮮の学校分布図も展示しました。外地教科書は主として現地の統治機関（台湾総督府、朝鮮総督府、南洋庁等）が発行したもので、地域の文化や風景を描いているものもあります。制作された時代の特徴を窺うことのできる資料もあります。

実物資料の展示のほかに、台湾、朝鮮、満州、南洋群島の教科書1冊ずつをデジタル化し、非接触操作が可能な画像表示装置を用いて全頁公開しています。ケース展示の場合は見開き2頁しか展示することができませんが、デジタル画像を使うことにより、全ての頁を閲覧することができます。

皆様のお越しを、お待ちしております。



『公学校用国語読本 卷一』
台湾総督府編纂 1938（昭和13）年



『普通学校修身書 卷二 生徒用』
朝鮮総督府編纂 1921（大正10）年



『初等日本語読本 卷四』
南満州教育会教科書教育部編纂
1937（昭和12）年

報 告

大学1年生の博物館見学

大学1年次の必修科目である「一年次セミナー」の一環で、学生の当館見学が行われています。学部・学科によっては、クラス単位での団体見学形式で実施するところがあり、これについては学芸担当のスタッフが交代で、見学に先立つ博物館の概要説明、展示室での質問対応等を行っています。「一年次セミナー」での博物館見学は、秋学期にも継続して実施される予定です。

データベース運用方法の変更

当館では所蔵資料の情報管理に関し、2000年に、従来の紙製の資料カードに代えて、コンピュータによるデータベースを導入しました。その後、事情により2010年にデータベースの基幹ソフトの変更を行いました。いずれも学内にデータサーバを設置しての運用でした。昨年度から、学外のデータセンターと連絡した、クラウドコンピューティング方式への変更を検討してきました。これは、今後のインターネットを介した情報発信への利便性、情報セキュリティの向上、管理面での負担等を総合的に勘案したもので、今年度の予算措置により、移行に踏み切ったものです。2011年の東日本大震災で被災した博物館では、館内設置のサーバが損傷し、データの回収・復旧が困難となった事例があったと聞き及びます。クラウドコンピューティング方式への変更は、万一の事故・災害時のデータ保全にも有効と考えています。

通信教育課程博物館実習

2022年8月8日から13日まで、本学教育学部教育学科通信教育課程の「夏期学芸員スクーリング」が開講され、62名が4組に分かれて受講しました。

通信教育課程のスクーリングは、毎年8月に開講していますが、今夏は新型コロナウイルスの感染者数が急増傾向にあったことから、7月半ばに急遽、ほとんどの科目を対面

形式から、インターネットの会議システムを活用した遠隔授業形式による開講に切り替えることになりました。しかしながら、博物館資料の取り扱い等を学ぶ博物館実習は、遠隔形式での実施が困難であることから、今夏のスクーリングでは例外として、対面形式のまま開講されました。ただし、教職員・受講生相互の感染リスクを下げるため、全6日間の日程のうち博物館資料や施設設備を使用しない2日半は遠隔授業とする、ハイブリッド型の開講としました。当館内では、美術資料や考古資料の取り扱いを中心とする実習を行いました。全国で1日に20万人以上の感染者が発生し、また、最終日には台風8号が接近する状況下での博物館実習でしたが、大きなトラブルもなく、終了することができました。



掛軸の取り扱い



額装品の展示

通学課程博物館実習

2022年9月5日から8日まで、及び9月12日から15日まで、本学の通学課程で博物館実習を履修している実習生、各回9名、合計18名が当館で館務実習を行いました。

博物館実習では、学期中は毎週2時間の実習を開講していますが、館務実習は大学の夏休みの期間を利用して、博物館業務を具体的に経験することを目的に、当館で連続して終日集中的に実習を行うものです。実習生た

ちは、当館の施設概要の説明を受けた後の館内見学、大型の展示ケース内の清掃と一部展示替え、秋期の企画展の準備作業、収蔵庫内の資料排架状況の点検・整理、収集資料整理とデータ登録、資料撮影等、実務的な内容、時間を要する仕事、当館スタッフのみでは行いきい人数を要する作業等に携わりました。学芸員の業務には、力仕事が少ないことに思いを新たにしましたが、実習生は、みな熱心に取り組んでくれました。



展示ケースの清掃



資料撮影

創始者関連資料等の整理

キャンパス整備の一環で、かつて学校法人の役員室が置かれていた建物が解体されることになり、そこに保管されていた玉川学園創始者小原國芳（1887-1977）をはじめ、歴代理事長・学長関連の資料等が、秘書業務を担当する教育情報・企画部から当館に移管されました。現在、その内容を把握し、整理する作業を進めています。

新任教員

2022年4月1日付で萩原哉准教授が、同7月1日付で秋葉正嗣教授が着任しました。

統計（2021年10月～2022年3月）

開館日数 121日 入館者数 1,679名

収集

〔資料〕	日本教育史	45件
	芸術	3件
〔図書〕	和書46冊	洋書0冊
〔定期刊行物〕	和雑誌	28冊
	洋雑誌	6冊

資料をご寄贈いただきました（順不同・敬称略 2022年2月～8月）

杉山 武敏	教育史関係資料	1点	土山 悠子	学園史関係資料	1点
川崎 くみ	芸術資料	3点	東 愛子	芸術資料	一括

ありがとうございました

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う「臨時対応」のお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、開館時間の繰り下げ、事前予約による入替定員制で開館しています。入館方法の詳細は、当館ウェブサイトをご覧ください。皆様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

2022年度下半期 開館カレンダー

2022年10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2023年1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月

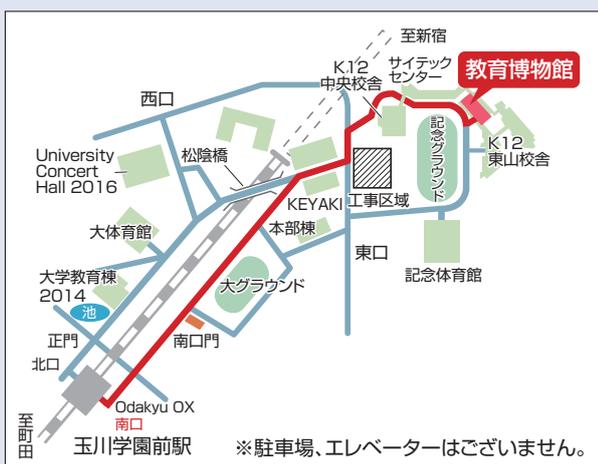
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

- 休館日
(2月1日～3月31日は照明設備工事等のため、休館します)
- 第1展示室
(日本教育史常設展示のみ公開)
- 企画展「先史・古代のアジアのやきもの」
記念展示「外地教科書」

※この予定は、大学授業・行事日程、社会情勢等により変更することがあります。詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。電話等にてお問い合わせください。



交通手段

小田急線「玉川学園前」駅下車 徒歩 15分
 ※駅南口から線路沿いの道を新宿方向に進むと、玉川学園の校門（南口）に行き当たります。博物館にお越しの際は、校門の案内所にて入校手続きをお願いします。
 (来館者用駐車場はありません。お車での来館はご遠慮ください。)

利用案内

- 開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 日曜日・土曜日・祝休日・玉川大学の定める休日・展示替期間
(臨時に変更することがあります。詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。)
- 入館料 無料

博物館ニュース SHŪ No.59
 2022年9月20日
 編集・発行 玉川大学教育博物館
 〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1
 TEL 042-739-8656 FAX 042-739-8654
www.tamagawa.jp/campus/museum/

『SHŪ』は、漢字で『集』とあらわします。博物館に「集」められたさまざまなものをめぐり、多くの人々の「集いの場」になるようにと願って名づけました。